

1. 計画名称

茅野市多文化共生・国際交流推進計画

2. 計画全体の進捗状況及び総合評価

進捗評価	おおむね順調	説明	新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年度から2022年度までは各施策の事業を大幅に縮小した。2023年度は、一部事業を縮小したものの概ね通常どおり実施できた。今後さらに増加が見込まれる外国籍市民に対し、現在の事業を継続して実施し、地域での生活ルール等を理解してもらうことは、地域にとってもメリットが大きいと考えられる。そのためにも、外国籍市民に各事業の取組を知ってもらい、参加してもらえるような取組を充実していく必要がある。
今後の重点化施策番号	1	説明	今後も増加が予想される外国籍市民が地域での生活ルール等を理解できる機会を創出し、参加してもらうことで多文化共生のまちづくりを確立していく。

3. 各施策等における評価内容と改革改善

区分	施策名称	進捗評価	総合評価		改革改善の具体的内容
			主な取組内容や成果	課題	
1	多文化共生のまちづくり(生活応援体制の確立)	おおむね順調	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語教室は、日本語を学ぶ場としての機能だけでなく、悩みを気軽に相談できる場所として利用されている。 ・日本語教室開催後には日常生活相談を開催し、時間をかけて相談に応じている。 ・5か国語及びやさしい日本語による生活情報誌を発行した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症が2023年5月に5類に引き下げられ、日本語教室の新規参加者が増加したが、市民活動も活発になり、会場の確保が今後の課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語教室の参加者が、今後さらに増加することがあれば、別の曜日での開催を検討する。
2	国際感覚豊かな人材の育成	おおむね順調	<ul style="list-style-type: none"> ・2023年度は、ロングモント交流事業、中学校台湾交流事業とも相手側が茅野市に訪れ、交流事業を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2023年度は、茅野市の中学生が相手側を訪れることは見送った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本と異なる文化に触れることで、自分とは違った価値観があることを知るきっかけにつながる。茅野市の中学生がロングモント市や台湾を訪問することは2020年以降実施できていないが、次年度以降は社会情勢を踏まえつつ判断したい。
3	多文化共生・国際交流推進団体への支援	おおむね順調	<ul style="list-style-type: none"> ・2023年度は、多文化共生推進員と連携し、外国籍市民やその関係者を対象に生活情報講座を開催した。 ・この6年間のうち、3年間は新型コロナウイルス感染症の影響により生活情報講座が実施できなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・より多くの外国籍市民に、講座に参加してもらえるような取組が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国籍市民が、市内で生活していく上で、生活に関する情報を正しく理解することは、本人だけでなく地域にとってもメリットが大きい(ごみの出し方など)。市内の事業所に外国籍市民向けの生活情報講座を要望があれば開催することを繰り返し情報発信し、講座そのものを認知してもらう。
4					
5					

※5つ以上の場合は裏面へ

4. 関連市民団体等の主な意見及び対応のポイント

	主な意見	市の考えや対応など
関連市民団体等名称		
開催回数		
参加延べ人数		
関連市民団体等名称		
開催回数		
参加延べ人数		
関連市民団体等名称		
開催回数		
参加延べ人数		